

科目名	感情・人格心理学			担当教員	吉田 琢哉
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SPS309
期待される学修成果	基礎教養 自己形成				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本授業では、感情やパーソナリティに関する基礎理論や測定に関する基本的知識を習得し、特に学校現場において不可欠な生徒指導や子ども理解について、感情・パーソナリティという観点を中心に理解を深めることを目標とする。				
授業の概要	感情やパーソナリティに関する基礎理論を紹介した上で、事例の検討を通して諸理論の適用可能性について考察する。感情・人格心理学の教育場面への活用についてもディスカッションを通して理解を深める。理論の進展について理解するために学術論文の講読も行う。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション／感情とパーソナリティとは
第2回	感情の基本的機能
第3回	感情の認知への影響
第4回	ポジティブ感情の機能
第5回	論文講読Ⅰ～教師のユーモア表出
第6回	道徳感情の基礎理論
第7回	自己肯定感とは何か
第8回	論文講読Ⅱ～善悪の判断
第9回	悲しみからの立ち直り
第10回	人格の基礎理論
第11回	感情と人格の発達
第12回	論文講読Ⅲ～レジリエンス
第13回	ストレスへの対処
第14回	文献講読と発表
第15回	授業全体の総括と学習到達度の確認試験

事前学修	2時間	資料を精読し、疑問点をまとめてくること。
事後学修	2時間	小課題を課すので、講義内容を復習しながら課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートの内容について提出後の授業で解説する。授業後に振り返りシートへの記入を求め、質問があった場合には次回授業の冒頭で回答する。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	授業内で課す小課題への取り組み(20%)、論文読解課題(30%)、および確認テスト(50%)により評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。資料を 適宜配布する。	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。			